

令和6年第1回三浦市教育委員会臨時会会議録

○日 時 令和6年8月6日（火） 午後2時00分～午後5時10分

○場 所 三浦市南下浦コミュニティセンター 多目的室1

○次 第

1 開 会

2 署名委員の指名

廣 瀬 牧 実 委員、 石 渡 博 幸 委員

3 審議事項

(1) 議案第15号 令和7年度使用中学校教科用図書の採択について

4 閉 会

○出席者（5名）

教 育 長 及 川 圭 介

教育長職務代理 石 崎 勇 吾

委 員 廣 瀬 牧 実

委 員 石 渡 博 幸

委 員 村 山 智 洋

○説明のために出席した職員

教 育 部 長 鈴 木 基 史

学 校 教 育 課 長 増 田 格 人

学校教育課指導主事 金 城 賢 太

教 育 総 務 課 長 浦 西 伸 一

学校教育課指導主事 佐 藤 美 沙 樹

学校教育課指導主事 中 村 亮 太

○事務局出席者

教育総務課教育総務グループリーダー

阿 井 俊 弥

教育総務課主事

吉 田 か お り

○傍 聴（21名）

○及川教育長 皆さんこんにちは。ただいまより、令和6年第1回三浦市教育委員会臨時会を開会いたします。

本日の臨時会の会議録署名委員に廣瀬委員と石渡委員を指名いたします。

よろしくお願いいたします。

○及川教育長 続きまして、次第3「審議事項」に入ります。

議案第15号 令和7年度使用中学校教科用図書の採択についてを議題といたします。

事務局より説明をお願いします。

○増田学校教育課長 地方教育行政の組織及び運営に関する法律第21条第6号及び義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律第13条の規定に基づき、令和7年度使用中学校教科用図書について採択するものでございます。

本件に関しましては、令和6年3月教育委員会定例会におきまして、決定いたしました「令和6年度三浦市立小・中学校使用教科用図書採択方針」に則り、調査検討を依頼した三浦市教科用図書採択検討委員会の協議内容等の説明と報告をさせていただきます。

三浦市教科用図書採択検討委員会においては、各教科の調査員が作成した資料、学校研究会が作成した資料、また併せて教科用図書展示会において、保護者、市民からの声を資料として御協議いただきました。

事前にお渡ししている資料AからEの結果が三浦市教科用図書採択検討委員会で参考とした資料となります。

三浦市教科用図書採択検討委員会におきましては、教科種目ごとの調査員、学校研究会の資料等を踏まえ、児童・生徒の状況、実態等を考慮して御検討いただき、三浦市の児童・生徒にとってより優れているもの、適したものとしてお選びいただいたものを御報告いたします。

なお、この報告につきましては、ここで行っていただきます採択に関し、縛りをかけるものではありませんので、併せて申し添えをさせていただきたいと思っております。

説明は以上です。

○及川教育長 説明は終わりました。

ただいま議案の説明と採択検討委員会の報告書について説明がありましたけれども、このことについて、御質問等がありましたらお願いいたします。

(質問等なし)

○及川教育長 よろしいでしょうか。ないようですので、審議に移ります。

まず、審議に当たりましては、教育委員の皆さんの意見を十分に聞きながら、三浦市教育委員会として適切に判断いたしまして、責任をもって決定してまいりたいと思っております。

三浦の子どもたちにとって、三浦市の学校、先生たちにとってよりよいものという視点を中心に据えながら協議を進めていきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

それでは、採択の進め方としては、採択検討委員会から出された「令和7年度使用中学校教科用図書検討協議結果」に記載されている「国語」から「特別の教科道徳」までの16種目について、事務局より1種目ごとに説明を受け、委員の皆さんには、今まで教科用図書を御覧いただいていると思いますが、御覧いただいた御意見に加え、検討委員会から出された報告書の内容や教科書を御覧になっての感想、地域からの感想などの資料を参考にしながら、最終的に採択1社を選んでいくこととしたいと思いますが、御異議ございませんか。

（「異議なし」の声あり）

○及川教育長 ありがとうございます。

では、御異議ないようですので、1種目ずつでの採択をいたします。

それでは、「国語」の説明をお願いします。

○増田学校教育課長 まず初めに、採択検討委員会の場において調査員より報告された各出版社の特長を報告いたします。

【東京書籍】

・シンプルで見やすい、子ども自身で自ら学習できる。

【三省堂】

・教師が提示したい資料がデジタルコンテンツとしてリンクしている。

【教育出版】

・問題の横に注釈があり、アシストができるようになっている。

【光村図書】

・SDGsとの関連を意識できる工夫がなされている。

これらの報告を受け、教科用図書採択検討委員会にて比較検討した結果、4社のうち、より適した三浦市の中学校で使用する教科用図書、国語として、◎をより優れている、○を優れているという考えで、「光村図書」を◎、「三省堂」が○として報告されました。

資料3ページ「令和7年度使用中学校教科用図書検討協議結果」を御覧ください。

検討の経過とともに、理由について御説明させていただきます。

検討の視点として、主に以下の3点をポイントに比較検討いたしました。

1点目、教育研究会の調査結果、これは現場の先生方の声、現場の教職員が授業をしやすいかどうか。

2点目、学校現場の実態に沿った教材配列で、かつ教師が実情に合わせてアレンジすることができるか。

3点目、三浦の生徒にとって扱いやすく、新しい学習指導要領の趣旨に沿った学習を深められる内容になっているか、です。

2社の教科用図書を候補といたしました理由について、優れているとされた理由について報告させていただきます。

まず、「光村図書」の理由としましては、

・ほかの作品を見ることができる。デジタルコンテンツが充実している。

・各領域の資質・能力を育むための教材ごとの学習の流れ・中心が一目でわかるように【学

びの扉】があり、さらに「学びのカギ」で図解によって整理されている。生徒が興味を持つ作品、興味が広がる工夫があった。

- ・研究会の調査結果において、「本校の生徒の実態から見て適切である」の項目の評価が高い。

次に「三省堂」の理由としましては、

- ・内容が充実している。【学びの道しるべ】に教材ごとの学びのねらいと学習過程が示され「読み方を学ぼう」で読み方や思考方法が視覚的に示されている。

- ・読書活動の充実を図ることについて、本を紹介するページが二次元コードでリンクされ、同じ作家の作品につなげることができる。

- ・研究会の調査結果において、「伝統や文化に関する教育の充実について工夫や配慮がなされている」の項目の評価が高い。

が挙げられました。説明は以上になります。

○及川教育長 説明は終わりました。

説明に対しての御質問、御意見等がありましたらお願いします。いかがでしょうか。

○村山委員 資料Cの2市1町の研究会の結果において光村の説明にもありましたけれども、「本校の生徒の実態から見て適切であるか」の項目の評価が高いとありましたけれども、そのことは光村が高く、また「伝統や文化に関する教育の充実について工夫や配慮がなされている」の項目は、三省堂が高いというところで、この違いについてどのようなかたちで考えていますでしょうか。

○増田学校教育課長 2市1町の調査結果、資料Cについてでございますけれども、5番の「学習指導要領の改訂における教育内容の改善事項等を踏まえ、伝統文化に関する教育の充実」という部分が高く評価をされているところです。

また、12番の「体裁がよく、生徒が使いやすいよう工夫や配慮がなされている」というところは光村図書の評価が高いとされています。

○廣瀬委員 私は、4社の教科書を見せていただいて、すごくそれぞれによさがあるなと思いました。

まず、三省堂は本文と資料に分かれているのがすごくわかりやすさがある。

教育出版は、表紙に掲げていた「伝え合う言葉」ということをとても大切にしている教科書ではないかなと、ただ少し本にボリュームを感じました。

光村図書は、思考の地図ということで、思考を広げる、整理する、深めるという流れがよくて、学習の見通しが立てやすい教科書だなと思います。

東京書籍、教育出版、光村図書の3社にプレゼンテーションの学びというものがあったんですけど、根拠と意見を基に説得力のある提案を進めていくというのが、今の社会、これからの社会生活にはとても大切な要素ではあるなと見させてもらいました。

総合的に見るとやはり学習の見通しが立てやすいという点で、私は光村がよいと思いました。そこが今の調査結果にある12番というところにも結びついているのかなと思っています。

○石渡委員 全体的に各社とも工夫されて、生徒の学びに対しての要求に応えるような出来になっているのかなと感じました。

その中で、調査委員会報告にもあったんですけども、私としても読書活動という面で、より充実している部分を上げられればいいかなと思いがあまして、そういう意味では、三省堂がより多く取扱っているのかなというのを感じました。

○及川教育長 ありがとうございます。

光村、三省堂という御意見がありましたが、そのほかいかがでしょうか。

○石崎委員 教科書というのは、子どもたちが学びやすい教科書、そして先生たちが使いやすいものがよいと思うんですけども、2市1町ではなくて、三浦市だけの評価を教えてもらってもいいでしょうか。

○増田学校教育課長 三浦市におけます調査の研究報告書の中で、その他17番「本校の生徒の実態から見て適切であるか」の部分と総合の部分でお答えするということでよろしいでしょうか。

まず、「本校の生徒の実態から見て適切であるか」については、東書0、三省堂1、教出0、光村2でございました。そして、合計が東書9、三省堂10、教出2、光村18となっております。

○石崎委員 そうすると三浦市の評価を聞くと、子どもを見てくれている三浦市の先生たちの評価が高かった光村のほうが私はよいと思います。

○及川教育長 ありがとうございます。

三浦市の実態からみてということでしたけれども、そのほかいかがでしょうか。

○村山委員 昨今、全国学力・学習状況調査では三浦市は神奈川県全体から見ても低い傾向でありますけれども、同調査で神奈川県の平均を上回る時期の調査を見ますと、国語力が高いときは平均を上回ることが多かったというデータも以前拝見したことがあります。ですので、何よりも生徒が使いやすいように工夫がなされているというところの評価が高い光村がよいのではないかなと思います。国語力、読解力がほかの教科、数学や英語にも結びついてくるのではないかなと思いますので、国語が学びやすい配慮がなされている評価というところで光村がよろしいのではないかと考えます。

○及川教育長 全国学力・学習状況調査については年度によって違うんですけども、やや低い傾向というところです。

そのほかいかがでしょうか。

○石渡委員 さきほど読書活動という面で三省堂がよいと評価をしたのですが、石崎委員がおっしゃったように教科書は何が大切かというところで、やっぱり子どもたちにとって分かりやすい、子どもたちが使いやすい、そしてそれを扱う先生方が扱いやすい教科書だということ

を含めて、数値的にも高く、総体的な流れ、もちろん教材等におけるさまざまなものを含めて光村がよいと思いました。

○及川教育長 そのほかよろしいでしょうか。

皆さんの御意見を聞く中では、光村図書が三浦の子どもたち、先生たちの指導を考えたときにより適したものではないかというような御意見かと思います。

そのようなことで、「国語」につきましては、「光村図書」で御異議ございませんか。

（「異議なし」の声あり）

ありがとうございます。

御異議ないようですので、「国語」については、「光村図書」で決定いたします。

○及川教育長 続きまして、「書写」の説明をお願いします。

○増田学校教育課長 まず初めに、採択検討委員会において調査員より報告された各出版社の特長を報告いたします。

【東京書籍】

・教材ごとに文字を正しく書くためのポイントが掲載されている。

【三省堂】

・巻末に二次元コードが一覧表となって用意されている。

【教育出版】

・内容がシンプルで現行の教科書から大きな違いがない。

【光村図書】

・半紙と同じサイズのお手本が用意され、子どもがイメージしやすい。

これらの報告を受け、教科用図書採択検討委員会にて比較検討した結果、4社のうち、より適した三浦市の中学校で使用する教科用図書、書写として、「東京書籍」、「光村図書」の2社が○として報告されました。

資料3ページ「令和7年度使用中学校教科用図書検討協議結果」を御覧ください。

国語と同様、三つの視点をポイントに御検討いただきました。

2社の教科用図書を候補といたしました理由について、優れているとされた理由について読み上げさせていただきます。

まず、「東京書籍」の理由としましては、

- ・デジタルコンテンツで動画、イラストにつながる。分かりやすい。
- ・研究会の調査結果において「生徒が使いやすいような工夫や配慮がなされている」の項目の評価が高い。

次に「光村図書」の理由としましては、

- ・手本のサイズが、半紙と同じサイズになっている。教科書の向きを変えると真似しやすい工夫がある。
- ・研究会の調査結果において、「文字を正しく整えて速く書く能力を育成するための工夫や配

慮がなされている」の項目の評価が高い。
が挙げられました。以上です。

○及川教育長 説明は終わりました。
御意見等がありましたらお願いします。

○石渡委員 調査委員会並びに検討委員会にも参加させていただいたのですが、各社ともよく工夫されて作られているなど理解できました。

その中で、小学校の現場にもいたのですが、先ほど国語の教科書が光村に決まったことを加味すると教科書との連携もあるのかなという意味で、光村がよいのかなという思いがあります。特に、説明にもありましたけれども、手本のサイズが半紙と同じサイズである面も子どもたちにとってもより扱いやすいのかなという気がします。

○及川教育長 お手本が半紙サイズというのは御覧になられていますか。
国語と同じ候補者のものがよいのではないかという御意見でした。
そのほかいかがでしょうか。

○廣瀬委員 東京書籍は、ページ数が少ないとありましたが、それは現場にとってはよいことなのでしょうか。

○増田学校教育課長 ページの多寡については報告もあり、検討されたんですけれども、良し悪しとしての報告ではなかったというかたちで受け止めています。

○廣瀬委員 では、問題はないということですね。
私が印象に残ったものは教育出版の書式の教室という項目があったんですけれども、手紙、封筒、お祝いの包紙や願書、送り状の書き方、中学生に必要なになってくるであろうものの書き方がページ数を多くとってあって、見やすく学びやすいすごく実用性というものを感じましたので、教育出版も気になってはいます。

○石崎委員 三浦市の17番と合計の数値と評価を教えてください。

○増田学校教育課長 三浦市の調査結果です。17番の項目ですが、東書0、三省堂0、教出0、光村1でございました。次に合計については、東書14、三省堂4、教出6、光村12となっております。

○石崎委員 東書、光村の評価が高くなっていて、気になった2市1町の2番、3番の項目で「主体的・対話的で深い学び」のところでも東書が高く、合計でも高いというところで私は東書が適切なのではないかと思います。

○廣瀬委員 先ほど石渡委員が国語の教科書と同じ会社であることがよいという意見がありましたけれども、その辺りの書写と国語の教科書の整合性はいかがなものなのでしょうか。

○石渡委員 特に同じでなければならないということではないんですけども、教科の進度によって出てくる内容や字等が反映してくるという利点があるのではないかなと私は現場にいるときに感じておりました。

○及川教育長 今のことにに関して事務局より何か検討委員会で出た意見等ありますか。

○金城指導主事 今回の調査員からの報告では、整合性についての強い意見はありませんでした。

○及川教育長 特にそのことについてはこだわらないということですね。

○村山委員 光村のほうはお手本が半紙と同じサイズだと書きやすいと出ていましたけれども、実際、毛筆で書くということが少なくなっていると思うんですけども、学校現場として、毛筆で書く授業を優先していくのか、先ほど廣瀬委員が言われたように願書や手紙、履歴書などの書き方を重点的にこなしていくのか、その辺りの教育の重点はどこに置いていくのでしょうか。

○増田学校教育課長 調査研究報告書の観点にもあるんですけども、村山委員がおっしゃられた、日常使われるような実用的な部分について、日常の学習や生活に役立てるそういった部分を養うことや毛筆ということで字を正しく整えて速く書くということを育てる部分においてはどちらも大切と考えており同列だと思っています。

ただ、もう一つの視点として、毛筆の運筆は硬筆にも生かせるという利点があると思います。こちらも大事な視点であると思っています。

○村山委員 その流れの中で2市1町の報告を見ますと毛筆と硬筆の関連性をもたせる工夫がなされているかどうかというところで、東書のほうが評価が高いというのが实际的に毛筆を行いながら硬筆も練習できるというか、授業を通して学びができるというのは東書のほうが優れているということであれば東書がよいのではないかと考えます。

○及川教育長 毛筆と硬筆の関連性ということですね。
そのほかいかがでしょうか。

○廣瀬委員 今の話を聞いて、毛筆から育てるという観点について理解ができました。その点でいうと東書の評価が高いと思いますので、私も評価の高い東京書籍でよろしいのかなと思います。

○及川教育長 先ほどの教出よりも東書のほうがよいということですね。

○石渡委員 検討委員会に教育委員の代表として参加させていただきましたが、4社のうち2社に絞られてきたという意味で、東書と光村の評価はそれほど違いがなかったのかなということを感じました。

今まで述べてきたことを含めてあえて子どもたちにとって授業を通してということを考えたときに、自己評価の振返りもできるというのは光村がよいと思っています。日常的に子どもたちが使うことにおいても若干優位性があるのかなと思います。全国文字マップというのもありましたが、子どもたちが親しめるというのも光村にはあるのかなという意味で光村を推してきました。

○及川教育長 ありがとうございます。それぞれによさがありますよね。
そのほかいかがでしょうか。

○廣瀬委員 二次元コードの使いやすさの比較はどうでしょうか。

○中村指導主事 毛筆のときの話になりますが、授業の際に生徒たちは机の上に習字道具を出してということになりますので、そこにさらにタブレットを出して読取るというのは、現実的に厳しいのかなと思います。もし使うのであれば教職員が電子黒板に映してというかたちになると思います。なので、使う頻度としてはそれほど多くないのかなと考えられます。

○及川教育長 子どもたちが手元で見ながらというのは現実的ではないのかもしれないということですね。

○石渡委員 私は光村を推してきたのですが、ほかの委員の意見や事務局の話を聞いた中で、そんなに大きな違いがあるとは感じておりませんので、東書に対しての意見が納得できるので東書でもよいのかなと思います。

○及川教育長 それほど大きな差がないという中で、ほかの委員の意見も聞きながら、東書ということの意見でした。

そうした中で皆さんの御意見として、「東京書籍」という判断になりますけれども、「書写」については、「東京書籍」で、御異議ございませんか。

（「異議なし」の声あり）

ありがとうございます。

御異議ないようですので、「書写」については、「東京書籍」で決定をいたします。

○及川教育長 続いて、「社会 地理」の説明をお願いします。

○増田学校教育課長 まず初めに、採択検討委員会の場において調査員より報告された各出版社の特長を報告いたします。

【東京書籍】

- ・グラフの読取りがしやすい。

【教育出版】

- ・追究・探究の地理のコラムがよい。

【帝国書院】

- ・G I S教材が用意されている。

【日本文教出版】

- ・多面的、多角的に考察する課題が設定されている。

これらの報告を受け、教科用図書採択検討委員会にて比較検討した結果、4社のうち、より適した三浦市の中学校で使用する教科用図書、社会 地理として、「帝国書院」が◎、「東京書籍」が○として報告されました。

資料3ページ「令和7年度使用中学校教科用図書検討協議結果」を御覧ください。国語等と同様、三つの視点をポイントに検討いただきました。

2社の教科用図書を候補といたしました理由について、特に優れているとされた理由について読み上げさせていただきます。

まず、「帝国書院」の理由としましては、

- ・G I S教材が豊富にあり、調査活動などが充実する工夫がなされている。
- ・デジタルコンテンツが充実しており、生徒が自ら学ぶ観点から考えても取組みやすい工夫がある。（自学の観点）
- ・2市1町の研究会の調査結果において、「本校の生徒の実態から見て適切であるか」の項目の評価が高く、三浦市の評価も高い。

次に「東京書籍」の理由としましては、

- ・二次元コードを読取ると鮮明で使いやすい資料があり、I C Tを活用した学びができる。
- ・グラフの読取りの学習として、グラフが多く示されている。

が挙げられました。以上です。

○及川教育長 説明は終わりました。

御意見等がありましたらお願いします。いかがでしょうか。

○廣瀬委員 地理は、地図との関連性があったほうがよいと思うのですがどうでしょうか。

○増田学校教育課長 今の観点ですが、検討委員会ではそういった議論は特にはございませんでした。

○及川教育長 こだわらなくても大丈夫ということですね。

○廣瀬委員 私は総合的な評価を見ても帝国書院の評価が高いので、帝国書院を推薦したいと思います。

○村山委員 帝国のほうに出ているG I S教材が豊富にありというところなんですけれども、G I S教材というのはどのように多く活用されているのでしょうか。

○及川教育長 授業での活用ということですね。

○中村指導主事 G I Sというのはジオグラフィックインフォメーションシステムというものでして、教材を授業や指導の中で活用している教職員はいると思うんですけれども、特段これに特化して活用しているというのは把握しておりません。

○廣瀬委員 三浦市の調査結果を教えてくださいてもいいのでしょうか。

○増田学校教育課長 それでは、三浦市の調査結果を報告します。

まず、17番「本校の生徒の実態から見て適切であるか」の項目については、東書1、教出0、帝国3、日文0、合計は東書23、教出15、帝国39、日文16です。

○廣瀬委員 やっぱり三浦市の結果からみても、やはり帝国が現場に合っているということだと思いますので、帝国がよいと思います。

○村山委員 G I Sの教材のことについては説明いただいたので分かりましたけれども、本校の生徒の実態から見て適切であるということで帝国の評価が高いということでありまして、G I Sも含めて資料が見やすいというところで帝国がよいのではと考えます。

○及川教育長 先ほど帝国が3という報告がありましたけれども、中学校が3校になりますので、すべての学校がということですね。
そのほかいかがでしょうか。

○石渡委員 G I S教材について、東書のほうが内容的に子どもたちの体験活動においてもよいのではないかとでているのですが、私の印象になってしまいますが見やすいという点では帝国のほうがよいのかなという気がします。

○石崎委員 私は、東書のほうがグラフが見やすく生徒も学習しやすいという内容がいいなと思ったんですが、先ほどから言っている三浦の実態に合っているというところで、ほかの委員の意見も聞く中で、帝国が適切ではないかと思っています。

○及川教育長 三浦の子どもたち、先生たちの実態に合っているのが帝国ということで、その部分を重視したいということでもあります。

ほかに御意見がないようでしたら、皆さんの意見としては、「帝国書院」が三浦市の評価としても高いので、よいのではないかという判断だと思います。「社会 地理」については、「帝国書院」で、御異議ございませんか。

（「異議なし」の声あり）

ありがとうございました。

御異議ないようですので、「社会 地理」については、「帝国書院」で決定をさせていただきます。

○及川教育長 続きまして、「社会 公民」の説明をお願いします。

○増田学校教育課長 まず初めに、採択検討委員会において調査員から報告された各出版社の特長を報告いたします。

【東京書籍】

- ・生活の中で探究の視点があり、身近なところからの探究が学べる。

【教育出版】

- ・単元を見通した間というものがあり、意識ができるのでよい。

【帝国書院】

- ・小中接続の円滑な接続に向けた視点が考えられている。

【日本文教出版】

- ・全体的な情報量は少なめだが、現代的な課題にチャレンジしている。

【自由社】

- ・文章表現中心に、しっかり読みこむつくりとなっている。

【育鵬社】

- ・国際問題をゲーム理論で考えさせるような工夫をしている。

これらの報告を受け、教科用図書採択検討委員会にて比較検討した結果、6社のうち、より適した三浦市の中学校で使用する教科用図書、社会公民として、「東京書籍」を◎、「教育出版」、「帝国書院」の2社を同列の○として報告されました。

資料4ページ「令和7年度使用中学校教科用図書検討協議結果」を御覧ください。

国語等と同様、三つの視点をポイントに御検討いただきました。3社の教科用図書を候補といたしました理由について、特に優れているとされた理由について読み上げさせていただきます。

まず、「東京書籍」の理由としましては、

- ・二次元コードのページが充実している。
- ・生活の中での身近なことからの探究がある。
- ・研究会の調査結果において、「体験活動の充実について工夫や配慮がなされている」の項目の評価が高い。

次に、「教育出版」の理由としましては、

- ・単元を通しての見通しや問いが意識してある。
- ・各章の最後にある「学習のまとめと表現」のなかで、単元を通しての問を振り返ることができてよい。
- ・研究会の調査結果において、「社会的な見方・考え方を働かせる学習ができるための工夫や配慮がなされている」の項目の評価が高い。

次に「帝国書院」の理由としましては、

- ・デジタルコンテンツによって、生徒の学習上の困難さに応じた配慮がなされている。
- ・学校段階の円滑な接続についての工夫がある。
- ・単元を見通したつくりが意識されている。
- ・社会の新しい動きが意識されている。

が挙げられました。説明は以上です。

○及川教育長 説明は終わりました。

御意見等がありましたらお願いします。いかがでしょうか。

○石渡委員 調査委員会や検討委員会の報告の中から3社が挙がりましたが、私としては、体験活動が充実しているという意味では、より深い学びということを考えると評価が高い東書や教出で迷っている状況です。

○及川教育長 体験活動の充実というところに着目して、東書、教出あたりがよいのではないかという意見であります。

そのほかいかがでしょうか。

○廣瀬委員 私も総合的に評価の高い「体験活動の充実」や「生徒が使いやすいかの工夫や配慮」という項目の評価の高さからみると、東書がよいのかなと思っています。

ただ、日文も章ごとの学習の初めにというページに漫画を導入してみたりとか、すごく学びに入りやすく、また、学びの目指すところにも工夫がみられて見通しが持ちやすいのかなという印象を受けています。

○及川教育長 子どもたちへの導入のしやすさも考えたいということですがけれども。

そのほかいかがでしょうか。

○石崎委員 二次元コードのデジタルコンテンツで、生徒自身が自ら学べるところで東書と帝国がよいと思っています。

○及川教育長 自ら学ぶといったことを考えたときには、東書、帝国がよいのではないかと思います。

○廣瀬委員 こちらも三浦市の評価を教えてくださいてもよろしいでしょうか。

○増田学校教育課長 三浦市の調査報告です。17番の項目「本校の生徒の実態から見て適切であるか」について、東書2、教出1、帝国1、日文1、自由社0、育鵬社0、合計は、東書27、教出21、帝国27、日文17、自由社13、育鵬社10でございます。

○廣瀬委員 やはり三浦市の評価も東書が高いようですので、東書がよいと思います。

○及川教育長 先ほどの導入についての意見よりもということですね。

○石崎委員 私も東書と帝国と言いましたけれども、子どもたちの実態から見ての評価が高かった東書がよいと思います。

○石渡委員 私も東書か教出かということで話をしましたが、全体的なことを考えると石崎委員もおっしゃっていましたが三浦の子どもたちの実態に合っている、目の前の子どもたちに合っているという意味で東書でどうかなと思います。

○村山委員 国の検定も通った教科書ですので学習指導要領に則った記述をされると思うんですけども、公民は現在の時事が多くなっている教科書ですので、現在使用している中で先生方から現場の意見として記述に間違いがあるというような意見はあったりするものなのでしょうか。

○及川教育長 間違っているということはないと思いますけれども、検定を通っておりますので、その辺りで何か報告はありますか。

○増田学校教育課長 使いにくさや記述について気になることといった意見等はいただいております。

○村山委員 今の意見も踏まえてそういった面で問題もないということなので、それぞれ皆さんの意見が多い、また、2市1町の調査結果の評価が高い東書がよろしいのではないかと思います。

○及川教育長 それぞれによさがあるということではありますけれども、最終的には皆さん三浦市の実態といいますか子どもたちに合っているか、指導のしやすさというところの視点で考えていくと「東京書籍」が三浦市にとってより適しているとの判断ですので、「社会 公民」については、「東京書籍」で、御異議ございませんか。

（「異議なし」の声あり）

ありがとうございます。

御異議ないようですので、「社会 公民」については、「東京書籍」で決定をいたします。

○及川教育長 続きまして、「社会 地図」の説明をお願いします。

○増田学校教育課長 まず初めに、採択検討委員会において調査員より報告された各出版社の特長を報告いたします。

【東京書籍】

- ・情報活用がなされて先進的である。

【帝国書院】

- ・学校段階の円滑な接続が配慮されている。

これらの報告を受け、教科用図書採択検討委員会にて比較検討した結果、2社のうち、より適した三浦市の中学校で使用する教科用図書、社会 地図として、「帝国書院」を◎、「東京書籍」を○として、報告されました。

資料4 ページ「令和7年度使用中学校教科用図書検討協議結果」を御覧ください。

国語等と同様、三つの視点をポイントに御検討いただきました。

2社の教科用図書を候補といたしました理由について、特に優れているとされた理由について読み上げさせていただきます。

まず、「帝国書院」の理由としましては、

- ・「小学校で学習した地図の約束を振返ろう」があり、学校段階間の円滑な接続について配慮されている。
- ・デジタルコンテンツが充実しており、生徒が自ら調べることができる工夫がなされている。生徒が使いやすい。
- ・研究会の調査結果において「本校の生徒に実態からみて適切であるか」の項目の評価が高い。

次に、「東京書籍」の理由としましては、

- ・地図の上に重ねると数値が出るサービス「RESAS」（リーサス）を用いたGISに係る教育が可能。リンクした情報を活用し、先進的な学習ができる。
 - ・高度な学習もでき、学習が広がっていく。
- が挙げられました。説明は以上になります。

○及川教育長 説明は終わりました。

御意見等がありましたらお願いします。

○石渡委員 東書のリーサスは革新的というか、新しいものなのでしょうか、教科書として。

○増田学校教育課長 リーサスにつきましては、地図上にデータを重ねて表示ができるということで、二次元コードを使って表示をするということについては先進的かなと思っております。

○石渡委員 リーサスについては自分自身でもはっきり分からなかったもので、説明を受けて東書のほうが一歩進んでるのかなと思うのですが、小学3年生から地図を使うと思うのですが、小学校から全体的なことを考えると帝国書院のほうが使い慣れていて、身近な部分を考えると帝国書院がよろしいのではないかと思います。

○及川教育長 使い慣れているということですね。

そのほかいかがでしょうか。

○廣瀬委員　私は帝国書院がよいと考えています。中身を見せていただくと色合いや文字づかい、資料も全体的に見やすくて索引もやりやすいという印象をもちました。
三浦市の評価を教えてくださいてもいいでしょうか。

○増田学校教育課長　三浦市の調査結果になります。まず、17 番の「本校の生徒の実態から見て適切であるか」の評価については、東書 1、帝国 2 となっております。合計は、東書 20、帝国 32 となっております。

○廣瀬委員　三浦市の評価も高いですし、評価の中の 14 番の項目に結びついていると思いますので、やはり帝国がよいと考えます。

○石崎委員　私も実際に地図を見てみて見やすかったというところと、振返りもしっかりできているというところでは、帝国を推薦させていただきます。

○及川教育長　小学校で学習をした辺りの振返りがということですね。
そのほかいかがでしょうか。

○村山委員　説明でありましたように、研究会の調査結果でも「本校の生徒の実態からみて適切である」の評価が高い、2 市 1 町でも帝国のほうが評価が高いというところで、帝国がよいのではないかと考えます。

○及川教育長　そのほかよろしいでしょうか。
皆さんの御意見を聞く中では、帝国書院が三浦の実態にも合っているのではないかとということとであります。
それでは、「社会 地図」については、「帝国書院」で、御異議ございませんか。

（「異議なし」の声あり）

ありがとうございます。

御異議ないようですので、「社会 地図」については、「帝国書院」で決定をさせていただきます。

○及川教育長　続きまして、「社会 歴史」の説明をお願いします。

○増田学校教育課長　まず初めに、採択検討委員会の場において調査員より報告された各出版社の特長を報告いたします。

【東京書籍】

・探究課題をポイントに置いて、自分ごとと捉えて学習ができる。

【教育出版】

・章ごとに問いがあり、見通しをもって学べる。

【帝国書院】

- ・タイムトラベルのコーナーがあり、その時代の知識が補える。

【山川】

- ・情報量が多く、高等学校で学ぶ歴史を意識している。

【日本文教出版】

- ・デジタルコンテンツが充実し、ICTで授業を進めることができる。

【自由社】

- ・他者に比べ、復習問題が特徴的である。

【育鵬社】

- ・子どもたちが間違いやすいものをわかりやすく説明している。

【学び舎】

- ・毎時間ごとのタイトルが生徒をひきつける工夫がなされている。

【令和書籍】

- ・作りそのものが大きく違い、巻末資料がモノクロである。

以上の報告を受け、教科用図書採択検討委員会にて比較検討した結果、9社のうち、より適した三浦市の中学校で使用する教科用図書、社会 歴史として、「帝国書院」を◎、「東京書籍」、「教育出版」を○として報告されました。

資料4ページ「令和7年度使用中学校教科用図書検討協議結果」を御覧ください。

国語等と同様に、三つの視点をポイントに御検討いただきました。

3社の教科用図書を候補といたしました理由について、特に優れているとされた理由について読み上げさせていただきます。

まず、「帝国書院」の理由としましては、

- ・タイムトラベルのコーナーで、時代の背景を知ることができる。
- ・世界の歴史から日本の歴史を学習する構成となっている。
- ・研究会の調査結果において、合計点が高く、教職員からの一定の評価がある。

次に、「東京書籍」の理由としましては、

- ・「探究課題」について、細分化され、読むだけではなく、生徒自身で課題を設定し、考えさせることができる。
- ・文章とイラスト、資料のバランスがよい。

次に、「教育出版」の理由としましては、

- ・章ごとに問いが設定されており、見通しをもった学習へつなげる工夫がなされている。
- ・すべての章にデジタルコンテンツ「学びリンク」があり力を入れている。

が挙げられました。説明は以上です。

○及川教育長 説明は終わりました。

御意見等がありましたらお願いします。

○石渡委員 各社ともそれぞれ特徴を出しながら書かれているのかなと思いました。検討委員会の中でも出された三つについては、自学的なものも含めながら深い学びを進めていく内容があるのかなと思います。特にその中でも自分が歴史を学ぶならという視点でみますと世界史を背景

にしながら、日本の歴史を学習するというのは非常に重要なことではないかなと思いますので、そういう意味では、勉強しやすく感じるのは帝国書院だと思います。

○石崎委員 こちらも三浦市の調査結果を教えてください。

○増田学校教育課長 三浦市の調査結果を報告します。まず、17 番「本校の生徒の実態から見て適切であるか」の項目につきましては、東書 2、教出 1、帝国 3、山川 1、日文 0、自由社 0、育鵬社 0、学び舎 0、令和書籍 0、合計は、東書 33、教出 26、帝国 40、山川 26、日文 21、自由社 18、育鵬社 16、学び舎 18、令和書籍 8 です。

○石崎委員 評価の点数の高さから東書、帝国がよいと思っておりました。

探究のステップがあり、自分から調べたいような構成になっているので、生徒が進んで勉強ができる点と三浦市の評価もこの 2 社が高いのでよいと思います。

○及川教育長 東書、帝国がよいとの意見でした。

そのほかいかがでしょうか。

○廣瀬委員 私は、教育出版の章の学びやまとめを考える短いコラムを使って載っていることや、まとめのコーナーがすごく理解しやすい工夫を感じました。

また、帝国書院は世界の歴史から日本の歴史を学ぶ構成はとてもよいと思っています。なので、帝国か教出がよいと考えています。

○村山委員 私は、世界の歴史から日本の歴史を学ぶという観点から帝国が優れているのかなと思いますし、教職員から一定の評価があることが研究会の調査結果からわかるので先生方も伝えやすいのではないかと思います。

もう一つ、先ほど地理の教科書が帝国ですので、地理と歴史の教科書が同じ出版社というのは整合性、見やすさ、勉強の関連性といったところから生徒も学びやすいのではないかと考えます。

○廣瀬委員 先ほど教出か帝国ということで話しましたが、教出もとてもよい内容が多いと思います。ただ、村山委員が意見された教職員からの評価があるというのはとても評価としては高いのかなということと、今お話にあった整合性というようなことも総合的に考えて評価をみたところでは帝国がよいかなと思います。

○及川教育長 どちらか迷ったけれども教職員の評価で帝国ということですね。

石崎委員はほかの意見を聞いた中でいかがでしょうか。

○石崎委員 そうですね、2 社挙げさせていただきましたが、資料と写真が豊富で生徒にとっても見やすいという観点からは帝国がよいかなと思います。

○及川教育長 そのほかよろしいでしょうか。

今聞いてきた中では三浦市の評価、教職員の評価、実態に合っている、また資料や写真の見やすさなどを考えたときには帝国がよいのではないかと御意見でしたけれども、「社会 歴史」については、「帝国書院」で御異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

それでは、御異議ないようですので、「社会 歴史」については、「帝国書院」で決定をさせていただきます。

○及川教育長 続いて、「数学」の説明をお願いします。

○増田学校教育課長 まず初めに、採択検討委員会の場において調査員より報告された各出版社の特長を報告いたします。

【東京書籍】

・表紙や、デザイン、レイアウト、余白の取り方など学習に取組みやすいつくりとなっている。

【大日本図書】

・導入でアニメの一部を取入れるなど、子どもの興味関心が高くなるつくりである。

【学校図書】

・1年生のストーリーを使った規則性に関する内容は、方程式導入で取扱いやすい。

【教育出版】

・1年生の方程式に画鋏の個数を題材にした内容は、教室にある身近なもので実感がある。

【啓林館】

・導入で遊園地を取上げ、子どもの興味をひく工夫がある。レイアウトもよい。

【数研】

・二次元コードがわかりやすい。図が細かすぎず、操作もしやすいものとなっている。

【日本文教出版】

・図形の作図で子どもたちにわかりやすい表現となっている。

これらの報告を受け、教科用図書採択検討委員会にて比較検討した結果、7社のうち、より適した三浦市の中学校で使用する教科用図書、数学として、「啓林館」を◎、「東京書籍」、「学校図書」、「日本文教出版」が同列の○として、報告されました。

資料4 ページ「令和7年度使用中学校教科用図書検討協議結果」を御覧ください。

国語等と同様に、三つの視点から御検討をいただきました。

4社の教科用図書を候補といたしました理由について、特に優れているとされた理由について読上げさせていただきます。

まず、「啓林館」の理由としましては、

- ・身近な素材を導入して、生徒が考えやすい工夫がなされている。
- ・デジタルコンテンツでは、キャラクターやコメントなどでヒントが示されており、生徒が振り返りながら学ぶことができる。

・研究会の調査結果において「体裁がよく、生徒が使いやすいような工夫や配慮がなされている」の項目の評価が高い。

次に、「東京書籍」の理由としましては、

・「思考力・判断力・表現力等」の育成について、ドミノ倒しのコースの長さを比べる課題の例が掲載されている。

・生徒の理解が深まる構成について、一人一台端末を活用できる学習活動ができるようにデジタルコンテンツで掲載されている。

次に「学校図書」の理由としましては、

・主体的・対話的で深い学びについて、問題解決に向けて答えを予想したり、方法を検討したりする学習活動が「ストローは何本必要？」に設定されている。

・研究会の調査結果において、「数学的活動を通して基礎的な知識及び技能を身に付けるための工夫や配慮がなされている」の項目の評価が高い。

次に「日本文教出版」の理由としましては、

・作図では、途中式はないが、その方法を説明し表現力を養うことができる。

・補充や発展問題が掲載されていて、さまざまな学び方ができる。

が挙げられました。説明は以上です。

○及川教育長 説明は終わりました。

御意見等がありましたらお願いします。

○村山委員 数学は繰り返し学ぶことが大事になってくるのではないかと思います。ですので、調査結果でも啓林館が◎になっていますけれども、生徒が振り返りながら学ぶことの評価が高いですし、また、生徒が使いやすい工夫がなされているというところで、先生方も生徒も使いやすいのではないかと思いますので啓林館がよいと考えます。

○廣瀬委員 どの教科書も比較がなかなか難しく、私は中学1年生の教科書の最初に載っている正と負の数の学びという箇所にとって比較をしてみたんですけども、生徒の立場になったときに、身の回りの場面から数を探すことや身近なことを素材にしているところがとても理解しやすかった点でした。その中では啓林館、学図が良かったです。

○及川教育長 身近なものであれば子どもたちも関心をもてるのではないかという視点で中1の初めの単元について比較してみたということです。

そのほかいかがでしょうか。

○石崎委員 三浦市の実態を教えてください。

○増田学校教育課長 三浦市の調査結果の報告です。17番「本校の生徒の実態から見て適切であるか」の項目については、東書1、大日本0、学図0、教出0、啓林館2、数研1、日文0、合計につきましては、東書3、大日本4、学図4、教出2、啓林館14、数研3、日文3です。

○石崎委員 三浦市の実態に合っているという部分で評価も高いというのと、話題が豊富で振り返りもしっかりできるというところでは、啓林館がよいかなと思います。

○石渡委員 各社とも主体的、対話的で深い学びだとか子どもたちの育成を考えられた数学としてどのように扱っていくのかよく書かれているかなと思います。その中で、私的には東書のドミノ倒しの部分が魅力的に感じたのですが、皆さんの御意見にも出ていましたように身近な素材を導入して、そして生徒も考えやすいという工夫の観点からいくと啓林館のほうが生徒たちにとっても考えやすいのかなという気がします。

○廣瀬委員 私は先ほど2社推薦したんですけれども、やはり、皆さんの意見も踏まえて生徒にとっての扱いやすさ、総合的にみたところ三浦市の評価もお伺いした中では、啓林館の評価がとても高いということでは、啓林館でよいのかなと考えます。

○及川教育長 そのほかよろしいでしょうか。

皆さんの意見の中では身近な素材を使って馴染みやすいだろうということと理解というところでも充実しているだろうというようなことで啓林館が三浦の子どもたち、先生たちにとってより適しているのではないかという御意見だと思います。

それでは、「数学」については、「啓林館」で、御異議ございませんか。

（「異議なし」の声あり）

ありがとうございます。

御異議ないようですので、「数学」については、「啓林館」で決定をさせていただきます。

○及川教育長 続きまして、「理科」の説明をお願いします。

○増田学校教育課長 まず初めに、採択検討委員会の場において調査員より報告された各出版社の特長を報告いたします。

【東京書籍】

・デジタルコンテンツが充実してきた。授業の補助によい。

【大日本図書】

・これまでの学習内容の振り返りが充実。小学校との接続が重視されている。

【学校図書】

・二次元コードからチャット形式の質問ができ、生成A Iで回答がなされる。

【教育出版】

・SDGsに関する内容が充実している。ルビ振りがされている。

【啓林館】

・資料集、振り返りシート、問題集を1冊にまとめたような教科書のつくりになっている。

これらの報告を受け、教科用図書採択検討委員会にて比較検討した結果、5社のうち、より適した三浦市の中学校で使用する教科用図書、理科として、「啓林館」を◎、「東京書籍」、「大日本図書」が○として報告されました。

資料5ページ「令和7年度使用中学校教科用図書検討協議結果」を御覧ください。

数学等と同様に、三つの視点で御検討していただきました。3社の教科用図書を候補といたしました理由について、特に優れているとされた理由について読み上げさせていただきます。

まず、「啓林館」の理由については、

- ・資料集や振返りシート、問題集の要素が含まれている内容となっている。
- ・防災減災ラボなど5種類のコラムが掲載されており、SDGsの内容が充実している。
- ・地球分野では、地層などが大きく提示されており、観察に行かなくても実際の地層を確認することができる。
- ・研究会の調査結果において、「他教科との関連等、カリキュラム・マネジメントに資する工夫や配慮がなされているか」の項目の評価が高い。

次に「東京書籍」の理由としましては、

- ・デジタルコンテンツで実験の様子などの動画を見ることができ、授業の補助動画を視聴できたり、学習内容を閲覧したりできる。
- ・観察・実験の操作がステップで表されている。課題ページと結果ページがめくらないと分からないようになっていて、結果が安易にわからないような工夫がされている。
- ・読み物ページが充実していて、学習内容と日常生活とのつながりが分かりやすくまとめられている。

次に「大日本図書」の理由としましては、

- ・これまでの学習の内容の振返りが充実している。小学校との接続が重視されている。
- ・章末「探究活動」のページがあり、知識を活用して課題探究活動が行えるようになっていく。
- ・小学校が大日本図書の教科書を使用しており小中連携の視点から効果的に学びを深めることができる。

が挙げられました。説明は以上です。

○及川教育長 説明は終わりました。

御意見等がありましたらお願いします。

○石崎委員 三浦市の評価を教えてください。

○増田学校教育課長 三浦市の調査結果の報告です。17番「本校の生徒の実態から見て適切であるか」の項目について、東書0、大日本3、学図1、教出1、啓林館2、合計は、東書10、大日本18、学図10、教出12、啓林館16です。

○石崎委員 検討委員会の報告にある小中の連携を考えると、同じ大日本の教科書のほうが評価もありましたし、よいと思います。

○及川教育長 小中連携を考えてということですね。

そのほかいかがでしょうか。

○石渡委員 小中連携がとれるという意味では大日本が有意義かなと思うんですが、検討委員会の中で啓林館のほう学びをしっかりと捉えられやすいのではないかとありました。そういう意味で調査検討においても他教科の関連やカリキュラムのマネジメントに工夫や配慮がなされている項目の評価が高いという意味では、大日本図書も有効であるけれども、これからの理科を考える中では先生方も推している啓林館も有意義かなと思います。

○廣瀬委員 4年間の間にデジタルコンテンツ、防災、SDGsなどの理解の度合いや考え方も4年前とは違ってきてるのではないかなと思います。その4年分の時間経過というのは大きいと思いますので、そこを含めて私は検討したいなと考えています。

○及川教育長 今のことについては承知だと思いますけれども、大日本については4年前のものがそのまま出されているということですね。その4年間についても考えたほうがよいのではないかとありました。

そのほかいかがでしょうか。

○石崎委員 先ほど三浦市の調査結果と小中連携のところで大日本がよいかなと思っていましたが、その4年前のことを踏まえてなく、他社はその間に工夫や改善がされていると思います。

そうすると、その次に評価が高い啓林館、改訂ができていなかったからだけではないんですけれども、啓林館と悩んでいたというのもあるんですけれども、SDGsの内容が充実していること、教える順番というところもよいと思いますので、啓林館のほうよいかなと思います。

○及川教育長 小学校の教科用図書の理科については、昨年度大日本ということで採択されているわけなんですけれども、そのつながりからすると同じ社のものが、小中の連携、つながりということではいいのではないかとということで、採択検討委員会の中などでも意見が出て、連携ということを中心に考えてきた方もいるんですけれども、やっぱり4年間工夫、改善がなされていないということについては大きいのではないかとということですね。そういうことを考えると啓林館がよいのではという意見でした。

そのほかいかがでしょうか。

○廣瀬委員 東書は、内容に日常生活から学習に入れるなというよさを感じました。

啓林館や教出は教科書が少し大きめかなと思いましたけれども、中身は写真集を見ているような楽しさがあって、生徒にとってはすごく興味がわくのではないかなと思います。

私はその中でも啓林館を推薦したいと思います。

○及川教育長 見やすさという辺りも考えたいということで、啓林館ということですね。

そのほかいかがでしょうか。

○村山委員 廣瀬委員の意見と同じように啓林館の教科書は写真集を見ているみたいできれいで、楽しく学ぶことができるのではないかなと思いました。また、調査結果でもほかの教科との関連性の項目の評価が高いというところでは、理科が他教科との関連が高いというのは大事ではないかなと、いずれ数学や物理とも関連することになってきますので、そのように関連性がある教科書というのは後々にもよいと思いますので、啓林館がよいと考えます。

○及川教育長 他教科、数学などとの関連ということで啓林館がよいということですね。そのほかいかがでしょうか。

○石崎委員 今の委員の意見に賛同するようなかたちになりますけれども、啓林館の写真の見えるのよさ、教職員の評価の高さをもって私も啓林館がよいと思います。

○及川教育長 そのほかよろしいでしょうか。
一つ確認なのですが、学校図書の説明でチャットということが出てきましたけれども、先進的なものを取り入れたおもしろいものかなと思ったんですけれども、その辺りについてはこれまでの採択検討委員会などで意見は出ていましたか。

○増田学校教育課長 説明チャットによる返事がくるということについて、検討委員会でも質問は出たんですけれども、実際にA Iで返事をもらうには生徒が質問しなければいけないというところと、生徒がいつそれを使うのかという部分で疑問がありました。

○及川教育長 それは、使いやすさということでしょうか。質問して答えが返ってくるわけですよ。自分で学習をする上では有効なツールかなとも思ったんですけれどもその辺りはどうでしょうか。

○金城指導主事 報告の中では、意図した回答が返ってこないという話もありました。

○及川教育長 それは質問によってということですか。

○金城指導主事 そうですね、質問によって返ってくる答えが意図したものではなかったと報告を受けています。

○及川教育長 石渡委員は採択検討委員会に出てそのチャットのことで何かありますか。

○石渡委員 説明に抜群な有効性があるとは私は感じませんでした。ただ、現代的にこれからA Iを含めた学習モードを進めていく中では一つの利点なのかなと思うんですけれども、今の時点では、印象は私自身には残りませんでした。

○及川教育長 質問の仕方によって答えが思ったものが返ってこないというような話もありましたけど、気になるところではありますけれども、有効性としてはもう少し先かなというところですね。

皆さんの意見を聞いている中では、他教科との関連性や見やすさを考えたときには啓林館が三浦市により適しているのではないかと意見かと思えます。「理科」については、「啓林館」で、御異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

ありがとうございます。

御異議ないようですので、「理科」については、「啓林館」で決定をさせていただきます。

(休憩)

○及川教育長 続きまして、「音楽 一般」の説明をお願いします。

○増田学校教育課長 まず初めに、採択検討委員会の場において調査員から報告された各出版社の特長を報告いたします。

【教育出版】

- ・体験活動に触れている。

【教育芸術社】

- ・全体的にしっかり詳しい、ポイントが多く掲載されている。

これらの報告を受け、教科用図書採択検討委員会にて比較検討した結果、2社のうち、より適した三浦市の中学校で使用する教科用図書、音楽 一般として、「教育芸術社」を◎、「教育出版」を○として報告されました。

資料5ページ「令和7年度使用中学校教科用図書検討協議結果」を御覧ください。

理科等と同様に、三つの視点で御検討していただきました。

2社の教科用図書を候補といたしました理由について、特に優れているとされた理由について読み上げさせていただきます。

まず、「教育芸術社」の理由としましては、

- ・ワークシートが詳しい。
- ・指揮について扱っており、3年間を通して体験活動ができるように工夫されている。
- ・歌唱指導について細かく丁寧に書かれており、3年間を通して生徒が主体的に調べたり考えたりすることができる。
- ・二次元コードから音源や演奏動画に直接つながることができる。

次に、「教育出版」の理由としましては、

- ・ワークシートが見やすい。
- ・歌唱指導について教師の自由度が高い。
- ・二次元コードから音源や演奏動画に直接つながることができる。

が挙げられました。説明は以上です。

○及川教育長 説明は終わりました。
御意見等がありましたらお願いします。

○石渡委員 教育出版が小澤征爾さんがお亡くなりになったことを取上げているところは日本の音楽史を大切にしていると思いました。担当の先生もおっしゃっていましたが、そういう意味では有意義なものかなと思います。しかし、音楽の授業を通して考えたときに検討委員会でも出ましたがワークシートの使いやすさや歌唱指導のしやすさという面では、3年間を通して教芸のほうがより優れていて、適しているのかなと思いました。

○石崎委員 私も教芸のほうが3年間を通して体験活動ができることと、主体的に活動ができることが特徴になっているのが魅力に感じました。

○村山委員 私も石渡委員、石崎委員と同様に3年間通じて学びができるということは音楽にとってとても大事ではないかなと、音楽の授業なので習い事とは違いますけれども1年行っただけで覚えられるものではないと思います。3年間通じて行っていく中で、学習、身につくことも含めて先生も伝えやすいのではないかなと思いますので、3年間通じてというのは教科書としてとても伝えやすいと思いますので、教育芸術社がよいと考えます。

○及川教育長 3年間見通したということで、教芸がよいということなんですけれども、そのほかいかがでしょうか。

○廣瀬委員 私は2社の甲乙がつけがたかったんですけれども、教科書に載っている今の中学生に馴染みのある曲の取扱いとか、そういう点では何か意見はありましたでしょうか。

○増田学校教育課長 馴染みのある曲が多いかどうかということだと思うんですけれども、それについては、特に検討委員会の中では意見は出ませんでした。

○廣瀬委員 2社とも優れていると思うんですけれども、評価の中でも説明の詳しさなどすごく細かく丁寧な取扱いをされているかなと感じましたので、私も教芸がよろしいのではと思います。

○及川教育長 そのほかよろしいでしょうか。
ちなみに三浦市の調査結果はどうでしたか。

○増田学校教育課長 三浦市の調査結果を報告します。17番「本校の生徒の実態から見て適切であるか」の項目について、教出0、教芸1、合計は、教出3、教芸4です。

○及川教育長 ありがとうございます。

それほど差はありませんが、その中でもどちらかと言えどということでは三浦市の実態からしても教芸であり、皆さんの意見と同じかなと思います。

それでは、「音楽 一般」については、「教育芸術社」で、御異議ございませんか。

（「異議なし」の声あり）

ありがとうございます。

御異議ないようですので、「音楽 一般」については、「教育芸術社」で決定をさせていただきます。

○及川教育長 続きまして、「音楽 器楽」の説明をお願いします。

○増田学校教育課長 まず初めに、採択検討委員会の場において調査員より報告された各出版社の特長を報告いたします。

【教育出版】

- ・授業をするときにギターのコード表が扱いやすい。

【教育芸術社】

- ・箏の二次元コードが創作活動につながり、使いやすい。

これらの報告を受け、教科用図書採択検討委員会にて比較検討した結果、2社のうち、より適した三浦市の中学校で使用する教科用図書、音楽 器楽として、「教育芸術社」が◎、「教育出版」が○として報告されました。

資料5ページ「令和7年度使用中学校教科用図書検討協議結果」を御覧ください。

音楽一般等と同様に、三つの視点で御検討していただきました。

2社の教科用図書を候補といたしました理由について、特に優れているとされた理由について読み上げさせていただきます。

まず、「教育芸術社」の理由としましては、

- ・デジタルコンテンツにおいて、箏の創作ツールがあり使いやすい。オンライン上で創作して、曲を聴く再生機能があり、生徒が直感的に学ぶことができる。
- ・三浦市で箏を使った授業が多くあり、箏の創作ツールを活用することで地域の実態にあった授業の表現と発展的な授業につながりやすい。

次に、「教育出版」の理由としましては、

- ・ギターのコード表が写真で掲載されており分かりやすい。
- ・ギターを使う場合の学習が進めやすい。

が挙げられました。説明は以上です。

○及川教育長 説明は終わりました。

御意見等がありましたらお願いします。

○石崎委員 三浦市の調査結果を教えてくださいよろしいですか。

○増田学校教育課長　三浦市の調査結果を報告します。17番「本校の生徒の実態から見て適切であるか」の項目について、教出0、教芸1、合計は、教出2、教芸4です。

○石渡委員　そんなに大きな違いはないと思うのですが、検討委員会で話された中で両方とも二次元コードの活用について2社ともよいという意見がありました。あえて私が見たいポイントについては、三浦市は、箏の授業が3校ともあるとのことで、そういう意味では教芸のほうが指導をするときに活用しやすいのかなと思いますので教芸がよろしいかなと思います。

○及川教育長　事務局に確認なんですけれども、箏の授業については3校とも行っているということよろしいですか。

○増田学校教育課長　箏は中学校3校とも行っているという報告がございました。

○廣瀬委員　両社ともどちらも丁寧な説明で分かりやすくつくられていたと思います。今の説明にもありましたけれども、やはり地域の実態に合っているという点では、私は教芸がよいと考えます。

○石崎委員　私も教芸の主体的に二次元コードで音楽の創作活動ができるところがよいと思うのと、箏の授業を行うということで地域の実態も踏まえていると思います。

○村山委員　皆さんの意見と同じように三浦の実態に合った3校ともに箏の授業をしているということで、授業の教科書として、教芸がよろしいと思いますし、創作ツールがあるということで音楽に親しみやすくなるのではと思います。また、教科書を見させてもらったときに篠笛の欄などもあり、三浦市はお祭りが盛んな地域でもあるので、興味が持てると思いますので、教芸がよろしいかと考えます。

○及川教育長　そのほかよろしいでしょうか。

今までの皆さんの意見の中では授業の実態、地域の実態から考えて教芸がよいのではないかと意見だと思います。

それでは、「音楽 器楽」については、「教育芸術社」で、御異議ございませんか。

（「異議なし」の声あり）

ありがとうございます。

御異議ないようですので、「音楽 器楽」については、「教育芸術社」で決定をさせていただきます。

○及川教育長　続きまして、「美術」の説明をお願いします。

○増田学校教育課長 まず初めに、採択検討委員会の場において調査員より報告された各出版社の特長を報告いたします。

【開隆堂】

- ・作品の参考になるものが多く、資料として使いやすい。

【光村図書】

- ・面白い教科書で、写真が大きく掲載されている。

【日本文教出版】

- ・一つ一つの作品はコンパクトであるが、掲載は多く、文字情報も多い。

これらの報告を受け、教科用図書採択検討委員会にて比較検討した結果、3社のうち、より適した三浦市の中学校で使用する教科用図書、美術として、「開隆堂」、「光村図書」が同列の〇として、報告されました。

資料5ページ「令和7年度使用中学校教科用図書検討協議結果」を御覧ください。

音楽等と同様に、三つの視点で検討していただきました。

2社の教科用図書を候補といたしました理由について、特に優れているとされた理由について読み上げさせていただきます。

まず、「開隆堂」の理由としましては、

- ・現場の実態に即していて使いやすい。
- ・参考作品が資料集のように掲載されており、製作活動においてイメージを広げやすい。
- ・「知識・技能」という言葉が教科書に示されていて、指導に生かしやすい。

次に、「光村図書」の理由としましては、

- ・生徒の興味を高める構成であり、題材ごとに主となる作品があり、大きく掲載されている。
- ・活動の目的や方法が明確であり、生徒が製作活動に取組みやすい。
- ・二次元コードから参考作品や動画を見ることができ、道具の使い方の説明なども分かりやすい。

が挙げられました。説明は以上です

○及川教育長 説明は終わりました。

御意見等がありましたらお願いします。

○廣瀬委員 私は開隆堂がよかったです。まず手にしたときにすごく立体的な表紙が感動的でした。中身も扱っている素材の見せ方など内容に独創性があるなという印象をもちました。

○石渡委員 私は生徒がイメージを高めるために教科書に載っている参考作品を利用するというのは現場にいたときにありましたし、そういう意味では大きな利点になるのかなと思います。光村のほうは、大きく掲載されていることが、大きなものを見ながら感性を働かせることができるというのは光村にメリットがあるのかなと思います。

○村山委員 開隆堂と光村が挙がっていますが、2市1町の結果では、日本文教が評価が高くなっていますが、三浦市はどうかのでしょうか。

○増田学校教育課長 三浦市の調査結果を報告します。17 番「本校の生徒の実態から見て適切であるか」の項目について、開隆堂 1、光村 2、日文 1、合計は、開隆堂 20、光村 20、日文 19 です。

○石渡委員 2 市 1 町では日文が高いが、三浦市では大きな差はないのかもしれませんが、開隆堂と光村が比較的高いといえるのではないかなと思います。そういう意味では、指導する側の実際の三浦の先生が 2 社のほうを評価されているのだと思います。写真が大きく掲示されている点から考えると、私は光村がよいと思います。

○石崎委員 子どもたちに合ったものかということを考えると、美術は目的があったほうが勉強になるのかなと思います。そう考えると、活動の目的や方法が明確になっている光村がよいのかなと思います。

○村山委員 開隆堂の二次元コードを読取ると便利であるという部分は、指導する先生方の使い方として便利なのでしょうか。

○増田学校教育課長 それについては検討委員会でも議論がありました。二次元コードの資料ということで、生徒の関心を高められますかというところで、光村図書については生徒作品が多く載っているので参考になる。開隆堂についてはやり方や道具の使い方についての説明が多いとの回答をしております。

○村山委員 道具の使い方の説明があるのは先生としてもとても分かりやすいと思います。興味を示すというところでは、光村のほう子どもたちの興味を示しやすいというところで、どちらの二次元コードも甲乙つけがたいと思います。

○石渡委員 道具の使い方などは、生徒の手元で見れるというのは有意義かなと思います。
また、作品の提示などは基本的に教師が発想を促すときにも有効なのではと思います。二次元コードの使い方については、指導者の使い勝手がよいという部分では両者とも甲乙つけがたいと思います。

○村山委員 悩むところなんですけれども、先ほど石崎委員が言われましたように子どもたちが興味をもつというところがとても大事なことだと思います。そこに少し魅力を感じると言いますか、使い方についてはその都度先生が指導していくと思いますので、そこを改めて二次元コードで子どもたちが振返ってみるよりも、どんな作品があるのか、どのようにチャレンジしているのかというところを二次元コードを通して、教科書だけではないところで他の作品を見られる、身近に他の生徒の作品が多いということでは、光村のほうがいいのかなと考えているところではございます。

○及川教育長 なかなか悩ましいところですね。
そのほかいかがでしょうか。

○廣瀬委員 皆さんの意見を聞きながら、生徒作品を参考にするという点についてはあまり考慮していなかったかなと思っています。その辺りの意見を踏まえて、開隆堂は想像力をすごく膨らませる教科書だなと思います。ただ、一方で生徒によっては、創造力というかゼロからできない子もいるのかもしれないということを考えていくと、ほかの生徒の作品を真似して作りたいという子たちにとっては、光村の教科書のほうが参考になるのかなと勉強しやすいのかなと思いましたので、光村がよいのではないのでしょうか。

○及川教育長 専門的な高いレベルのものを与えて創造を膨らませることも必要だけれども、身近な作品を多く見ることによってそこからヒントを得る、そちらのほうがよいのではないかなとのことですね。

○石崎委員 生徒の興味を高めるという点では、開隆堂は、作品をどう作るか細かく書いてありますし、使うものに対して説明もしっかりされています。光村は、自分の立ち位置で同じものを見てもイメージが変わったり、光をあてて反射させた長さや角度で感じ方が違うというような生徒の創造的なところまでを考えているところで光村のほうがいいと思っています。

○及川教育長 いろいろな視点をもって作品をつくっていくことについて光村のほうがよいということですね。

そのほかいかがでしょうか。

皆さんの意見からすると光村ということですが、大きな差はないけれども子どもの実態、三浦の実態からみると、「美術」については、「光村図書」で、御異議ございませんか。

（「異議なし」の声あり）

ありがとうございます。

御異議ないようですので、「美術」については、「光村図書」で決定をさせていただきます。

○及川教育長 続きまして、「保健体育」の説明をお願いします。

○増田学校教育課長 まず初めに、採択検討委員会の場において調査員より報告された各出版社の特長を報告いたします。

【東京書籍】

・教科書のつくりが主体的に学べるつくりとなっている。

【大日本図書】

・主体的に取り組めるように「やってみよう」が設定されている。

【大修館】

・「つかむ」「身につける・考える」「まとめる・振り返る」のシンプルな3ステップでまとめられている。

【学研】

・学びを深めるための仕掛けがある。

以上の報告を受け、教科用図書採択検討委員会にて比較検討した結果、4社のうち、より適した三浦市の中学校で使用する教科用図書、保健体育として、「東京書籍」が◎、「大修館」が○として、報告されました。

資料6ページの「令和7年度使用中学校教科用図書検討協議結果」を御覧ください。

美術等と同様に、三つの視点で検討していただきました。

2社の教科用図書を候補といたしました理由について、特に優れているとされた理由について読み上げさせていただきます。

まず、「東京書籍」の理由としましては、

- ・巻頭の「この教科書の使い方」で学習の方法が示されており、主体的に学習に取り組める配慮がなされている。
- ・思考ツールやデジタルコンテンツは、生徒の「思考力・判断力・表現力」を高めることができる。
- ・薬物乱用について断り方のスキルが示してある。
- ・三浦市の研究会の調査結果において、合計点が高く、教職員からの一定の評価がある。

次に、「大修館」の理由としましては、

- ・主体的・対話的で深い学びとなるように、各章・各学習項目を「つかむ」「身につける・考える」「まとめる・振り返る」の3ステップで構成されている。
 - ・学習上重要な語句をキーワードとして明示し、学習の要点や重要概念を見出しに掲げ、学習内容の確実な習得に役立てるようにされている。
 - ・研究会の調査結果において、合計点が高く、教職員からの一定の評価がある。
- が挙げられました。説明は以上です

○及川教育長 説明は終わりました。

御意見等がありましたらお願いします。

○石渡委員 今の学習指導要領にも書かれていますが、主体的・対話的でより深い学びという観点から考えると、大修館のほうがりットがあるかなと思います。

○村山委員 2市1町の調査結果では、東書が抜きんでて評価が高いところがあります。また、検討委員会でも◎とされておりますので、東書がよいと思います。もう一つの理由として、学年ごとの学習が明確な「学年別構成」が東書の特色になっています。ですので、学年ごとの学びやすさというところは東書のほうが学びやすく、学ぶことが明確になるので勉強しやすいのではと考えます。

○廣瀬委員 私も東書がよいと考えています。全体的な評価も高いですし、中学生の時代だけではなく、生涯を見通したときにはとても効果的に学べる教科書ではないかと思いました。

○石崎委員 三浦市の調査結果を教えてください。

○増田学校教育課長　それでは三浦市の調査結果を報告します。17 番「本校の生徒の実態から見て適切であるか」の項目について、東書 2、大日本 1、大修館 1、学研 1、合計については、東書 22、大日本 13、大修館 22、学研 15 です。

○石崎委員　三浦市の結果からみて、先生が教えやすいことと三浦市の実態に合っているという点から、私も東書がよいと思います。

○石渡委員　主体的・対話的という観点から大修館がよいという意見を出しましたが、先生方の実態を考えると特に研究会の調査結果の項目 14 の自主的な学習がしやすい工夫の評価が高いので、生徒たちの学びが工夫しやすいのがみられる東書がよいのかなと、ほかの委員の意見に寄り添ってもいいのかなと思います。

○及川教育長　先ほどは大修館がよいと言っていましたが、みなさんの意見を聞く中で東書もいいのではということですね。
そのほかいかがでしょうか。

○石崎委員　東書もいいと思います。検討協議会の結果で薬物乱用防止が大きな視点でありますし、皆さんがふさわしいと思っているので、東書でよいと思います。

○及川教育長　皆さんの意見を聞いてきた中では、東京書籍が三浦の実態、扱われる内容についてもよりよいのではないかとのことだと思います。
それでは、「保健体育」については、「東京書籍」で、御異議ございませんか。

（「異議なし」の声あり）

ありがとうございます。

御異議ないようですので、「保健体育」については、「東京書籍」で決定をさせていただきます。

○及川教育長　続きまして、「技術・家庭 技術分野」の説明をお願いします。

○増田学校教育課長　まず初めに、採択検討委員会の場において調査員より報告された各出版社の特長を報告いたします。

【東京書籍】

- ・基本的な事項が掲載され、多面的に学べる。

【教育図書】

- ・文章量は少ないが、ポイントを押さえていてわかりやすい。

【開隆堂】

- ・写真が多く、工具の使い方が載っていてよい。

これらの報告を受け、教科用図書採択検討委員会にて比較検討した結果、3社のうち、より適した三浦市の中学校で使用する教科用図書、技術・家庭 技術として、「教育図書」を◎、「東京書籍」を○として報告されました。

資料6 ページ「令和7年度使用中学校教科用図書検討協議結果」を御覧ください。

2社の教科用図書を候補といたしました理由について、特に優れているとされた理由について読み上げさせていただきます。

まず、「教育図書」の理由としましては、

- ・教科書の使い方がデジタルコンテンツで示されており分かりやすい。
- ・4分野の安全面の配慮等が説明された詳しい専用ページがあり分かりやすい。
- ・別冊「スキルアシスト」があり、実習の時にも活用しやすい。
- ・研究会の調査結果において、「生徒にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされているか」の項目の評価が高い。

次に、「東京書籍」の理由としましては、

- ・「最適化の窓」という技術の見方・考え方を説明するページがある。
- ・補足資料や実技のやり方が動画コンテンツで示されていて、充実している。

が挙げられました。説明は以上です

○及川教育長 説明は終わりました。

御意見等がありましたらお願いします。

○石渡委員 調査報告にある教育図書の安全面の配慮等が説明された専用ページとはどんなことなのでしょう。

○金城指導主事 教育図書は、「スキルアシスト」という別冊があり、4分野ごとに要点をまとめた冊子が用意されています。

○石渡委員 技術家庭の技術分野というのは、活動の部分が多いと思いますので、検討委員会の中でも優れているのは、生徒が活動しやすい面では教育図書かなと思います。それから、いろいろな器具や道具を使うことがあると思うのですが、各章の最初のページに安全指導が書かれているのがよいと思います。

○村山委員 私も石渡委員の意見と同じで、安全面の配慮がされているということは技術の授業としてとても大事なと考えます。技術の先生もそれぞれ分野が違う中で、まず安全面を大事にした授業ができるというのは先生方にとっても大切になるし、やりやすいのではないかと考えます。その部分について教育図書がよいと思います。また、教育図書は重要な語句が色付きで分かりやすい構成になっています。そこの部分も評価すべきところかなと考えます。

○及川教育長 安全面の配慮、また、気をつけるべきことについて強調されているというところで教育図書ということでもあります。

そのほかいかがでしょうか。

○廣瀬委員 私も同意見ですけれども、やはり安全配慮というのは使いやすさとともにとても大切なことですし、また、調査結果でも評価が高いので、生徒にとって分かりやすい教科書として捉えてよいのではないかと思いますので、私も教育図書がよいと考えます。

○石崎委員 東書は基本的、多面的にバランスがいいんですけれども、やや字が多いと感じます。教育図書は、字とイラスト、写真などのバランスがよいと感じますので、見ていて吸収しやすいというか生徒たちも学びやすいのかなと感じます。また、皆さんの意見を聞いても教育図書がよいのではないかと思います。

○及川教育長 そのほかよろしいでしょうか。

皆さんの意見を聞く中では、やはり安全面の配慮ということは重視すべき、あとは全体のバランスということなども考えると教育図書というのが三浦の子どもたちの実態、大切にすべき点から考えても適しているのではないかということだと思います。

それでは、「技術・家庭 技術分野」については、「教育図書」で、御異議ございませんか。

（「異議なし」の声あり）

ありがとうございます。

御異議ないようですので、「技術・家庭 技術分野」については、「教育図書」で決定をさせていただきます。

○及川教育長 続きまして、「技術・家庭 家庭分野」の説明をお願いします。

○増田学校教育課長 まず初めに、採択検討委員会の場において調査員より報告された各出版社の特長を報告いたします。

【東京書籍】

・デジタルコンテンツ、思考ツール、タブレットが連携しやすい。

【教育図書】

・授業の補足ができる。つまずきのある生徒にも対応ができる。

【開隆堂】

・実技が伴うものについて、写真やイラストがわかりやすい。

これらの報告を受け、教科用図書採択検討委員会にて比較検討した結果、3社のうち、より適した三浦市の中学校で使用する教科用図書、技術・家庭 家庭として、「開隆堂」が◎、「東京書籍」、「教育図書」の2社が同列の○として報告されました。

資料6 ページ「令和7年度使用中学校教科用図書検討協議結果」を御覧ください。

3社の教科用図書を候補といたしました理由について、特に優れているとされた理由について読上げさせていただきます。

まず、「開隆堂」の理由としましては、

・課題解決の流れが生活課題に取り組む、生活の課題と実践に示されているので、見通しがもちやすい。

- ・図やイラストが多く掲載されていて、視覚的に捉えやすい。特に実技を伴う場面、食・衣の分野で活用しやすい。

- ・三浦市の研究会の調査結果において、合計点が高く、教職員からの一定の評価がある。

次に、「東京書籍」の理由としましては、

- ・デジタルコンテンツで思考ツールを使うことができる。

- ・実践的・体験的な活動における資料が豊富であり、生徒にとって理解しやすく、取り組みやすい。

次に、「教育図書」の理由としましては、

- ・二次元コードを活用でき、検索をしなくても情報が入りやすい。

- ・学習上の困難を解決するための手立てが丁寧に示されており、個に応じた対応が取りやすい。

が挙げられました。説明は以上です

○及川教育長 説明は終わりました。

御意見等がありましたらお願いします。

○村山委員 先ほどから2市1町の調査結果を参考にしているんですけども、三浦市の評価はどのようになっていますでしょうか。

○増田学校教育課長 三浦市の調査結果を報告します。17番「本校の生徒の実態から見て適切であるか」の項目について、東書0、教育図書0、開隆堂1、合計は、東書11、教育図書10、開隆堂15です。

○石渡委員 検討委員会の結果の中でもあったのですが、課題解決の流れが非常によく、見通しがつけやすいと示されていました。それは今の子どもたちの学びの主体的・対話的という部分については非常に有効なのかなと思いますので、私は3社挙がっていますけれども、中でも開隆堂にメリットがあるのかなと思います。

○村山委員 先ほどの質問も含めてなんですが、2市1町の調査結果では、東京書籍が抜きんでよくて、三浦市は開隆堂が◎というところでその差もある中で、それを踏まえてなんですが、開隆堂の教科書の題名が「自立とともに支え合う生活へ」というのが男女共同参画といいますか、そういった観点、そこを目指そうという教科書になっている、その考え方を反映させている、そういったところで三浦市の評価も高いのではと感じています。まだ迷ってはおりますけれども。

○及川教育長 教科書のタイトルにも会社の考えがでていてということですね。

○廣瀬委員 3社ともに実用的な内容が多くて、料理の部分ではレシピ集のようなつくりで、すごく楽しく教科書を見ることができました。その中でも開隆堂は、先ほどの説明にもありま

したけれども、視覚的に捉えやすく、実技で活用しやすい点が優れていると感じますので、私は開隆堂を推薦したいと思います。

○村山委員 2市1町の調査結果とは異なり開隆堂を評価することになりますが、今の廣瀬委員の話を受けて、実技として活用しやすい点や教職員からの一定の評価があること、三浦市の調査結果が高いことはよいと思います。「自立とともに支え合う生活へ」というタイトルを考慮しても教科書としてふさわしいと思う。

○及川教育長 三浦市の実態を優先してということですね。
そのほかいかがでしょうか。

○石崎委員 私も開隆堂がよいと思います。三浦市の合計点が高いところから、子どもたちに合っていると思います。また、学んだことを持続可能にしていく記載がありましたし、知ったものを発展させるようなつくりになっているのがとてもよいと思います。

○及川教育長 そのほかよろしいでしょうか。
皆さんの意見を聞く中では、実技としての使いやすさ、2市1町と三浦市の評価に違いはありますがけれども、三浦市の数値の結果を尊重して考えたとき、あとは知ったことを発展させていくことで考えるという中では開隆堂が三浦市にとってはよいのではないかとということですが、
けれども、「技術・家庭 家庭分野」については、「開隆堂」で、御異議ございませんか。

（「異議なし」の声あり）

ありがとうございます。

御異議ないようですので、「技術・家庭 家庭分野」については、「開隆堂」で決定をさせていただきます。

○及川教育長 続きまして、「英語」の説明をお願いします。

○増田学校教育課長 まず初めに、採択検討委員会の場において調査員より報告された各出版社の特長を報告いたします。

【東京書籍】

- ・小中接続がよく扱いやすい。小学校で使ったキーセンテンスを使っている。

【開隆堂】

- ・英語を学習する上での活動の種類が多い。

【三省堂】

- ・音声で内容を確認し、その後、文字で把握する流れがあり、生徒は学習しやすい。

【教育出版】

- ・すべてのレッスンについて、レッスン1につき3パート構成となっている。量は十分だが関連性が薄くなっている。

【光村図書】

・第2言語習得には音声が重要として、音声重視である。小学校の復習も音声から入り、文字への流れがある。

【啓林館】

・現行使用している教科書に近い。英文量はやや多めである。

これらの報告を受け、教科用図書採択検討委員会にて比較検討した結果、6社のうち、より適した三浦市の中学校で使用する教科用図書、英語として、「光村図書」が◎、「東京書籍」、「開隆堂」、「三省堂」が同列の○として、報告されました。

資料7ページ「令和7年度使用中学校教科用図書検討協議結果」を御覧ください。

4社の教科用図書を候補といたしました理由について、特に優れているとされた理由について読上げさせていただきます。

まず、「光村図書」の理由としましては、

- ・小学校での音声を中心とした学びから文字学習に移行していく学び方の構成があり、小中の接続に配慮がなされている。
- ・デジタルコンテンツを使うことで生徒が考えを深めることができる。
- ・4人の中学生たちが成長していく英語のストーリーを通して、全単元を学んでいく構成になっている。

次に、「東京書籍」の理由としましては、

- ・三浦市の小学校も東書の教科書を使っているので、小学校からの接続がよく、小学校で学んだキーセンテンスを活用できる。
- ・デジタルコンテンツが充実している。

次に、「開隆堂」の理由としましては、

- ・活動の種類が多い。
- ・導入を大切にし、興味関心を高める工夫がなされている。
- ・リテリングを通して総合的な力を身に付けることができる。

次に、「三省堂」の理由としましては、

- ・音声から文字で把握する順番となっていて、自然な流れで相当量の英語に触れることができる。
- ・アニメーションが変わるので、分かりやすい。
- ・レッスン内容とアクティビティの関連が薄めである。
- ・環境や人権、平和など社会的な話題について書かれた英文を読み、身の回りにあることを考えることができるようになっている。

が挙げられました。説明は以上です。

○及川教育長 説明は終わりました。

御意見等がありましたらお願いします。

○村山委員 光村、三省堂等で音声が大切であると言われてはいますが、三浦市の調査結果からも音声を中心にした流れというところで光村が音声を大事にしているのは伺えるのですが、ほかとの違いはどのようなのでしょうか。

○中村指導主事　言語の修得の観点から考えますと赤ちゃんが大人の言葉を聞いて、話せるようになって、読んで、書いてという流れになると思うのですが、そういった点を重視しているのが光村になっています。また、検討委員会でも話題になったんですけども、英語の指導法の一つに5ラウンドシステムというのがあります。その5ラウンドシステムというのも最初は聞いて推測するというところから入っていくので、光村が特にそれがやりやすいというのが検討委員会でありました。

○及川教育長　音声重視ということで光村がよいということです。
そのほかいかがでしょうか。

○石渡委員　今の質問に関連してくると思うのですが、小学校の音声学習が中心であったところから文字学習に移行していくという点では、接続がよいと思えたのは光村でした。そういう意味で、光村にメリットがあるのかなと思います。

○及川教育長　小学校からの接続がよいということですね。
そのほかいかがでしょうか。

○石崎委員　三浦市の結果を教えてください。

○増田学校教育課長　三浦市の調査結果について報告いたします。17番「本校の生徒の実態から見て適切であるか」の項目について、東書2、開隆堂1、三省堂1、教出0、光村2、啓林館0、合計は、東書12、開隆堂9、三省堂9、教出4、光村14、啓林館4です。

○石崎委員　今の評価をもっても光村を推薦させていただきます。私も音声の特化と常に自分でチェックできることもよいと思いました。

○廣瀬委員　今の三浦市の結果から東書も数値が高いと思うのですが、それは今小学校で使っているからこの結果につながっているのでしょうか。
また、東書にしろ、光村にしろ、教科書のつながりで差がでたり影響はあるのでしょうか。

○増田学校教育課長　そのことについては、検討委員会でも質疑がなされました。調査員からの意見の報告の中ではあまり影響は少ないと考えるというような意見が出されました。

○村山委員　リスニングを重視した教育をやっていく中で、英語力を高めるためには必要なのは分かるんですけども、実際に文法などが指導要領に則ったものになるのでしょうか。音声だけを重視しているわけではないでしょうけれどもその辺りが難しいところかなと考えます。
例えば、受験などでどちらを求められるか、保護者の方は英語が話せるようになるということ了我々がいくら教育しようと思っても、実際、受験には必要ないってなるとそこを学ぶ部分

にギャップが生まれてしまうのかなと思うんですけどもその辺りの学校の意見はどうでしょうか。

○金城指導主事 入試は学習指導要領の範囲でしかないので、教科書に左右されるものではないと考えています。入試のことを考えて教科書を選ぶということはしなくてもよいと思います。

○及川教育長 試験のかたちも変わってきていますし、それは事実だと思います。

親が受験したころのテスト内容とは違ってきているのは事実だと思いますし、リスニングなどもかなり重視されたものになってきています。

そのほかいかがでしょうか。

○石渡委員 現状の三浦市における英語教育の在り方の部分の中で、話すことと文字学習の部分が微妙なところもあるのかなと考えています。昨年度の中学校の学校訪問をさせていただいた中でも英語の授業を話しながら進めていくというのもみられました。そういう意味でどちらが大切かということではないんだけれども、英語教育で問われている部分、話すこと、考えられることも大事だと思いますので、話すことを大切にしながら文字学習もいけるような接続をもっている光村のほうにメリットがあるのかなと思います。

○及川教育長 小学校でのものから徐々に文字へ移行していくということを考えたときには光村のほうがよいという意見でしたけれども、そのほかいかがでしょうか。

○村山委員 リスニングが大切だということはもちろん分かっているのですが、それに当たって文法やリスニングでないところの学習も大切になってくるということも重々分かっております。石渡委員がおっしゃられたように小学校からのリスニングから文字学習に移行していくということで、光村を推しているということも理解できます。

また、三浦市としてもグローバル教育というのを中心に強くやっていこうという流れになっていますので、リスニングを強くしながら英語力を高めていくということで光村がいいのかなと思います。余談になりますが、歴史の教科書で自分が習ったときにはルーズベルトだったんですが、今の教科書ではローズベルトと書かれていたので、大分そこで音の響きが変わってきているのだなと思いますので、リスニングも大事にしながら正確な英語を学ぶというところは光村のほうに適しているのかなと感じます。

○廣瀬委員 村山委員の意見にもありましたように、リスニングということを考えると今の英語教育はコミュニケーションで使っていくということがとても重要視されていると思いますので、私も光村がよいです。

○及川教育長 そのほかよろしいでしょうか。

皆さんの意見を聞く中では、小学校の音声を中心に学んできたことを踏まえながら、文字に移行していくその辺りを丁寧に扱っている、大切にしたいほうがよいのではないかというところで、光村がよいのではないかという意見が多いと思います。

それでは、「英語」については、「光村図書」で、御異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

ありがとうございます。

御異議ないようですので、「英語」については、「光村図書」で決定をさせていただきます。

○及川教育長　　続きまして、「特別の教科 道徳」の説明をお願いします。

○増田学校教育課長　　まず初めに、採択検討委員会の場において調査員より報告された各出版社の特長を報告いたします。

【東京書籍】

・身近なユーチューバーや分身ロボット、A I などを取上げて、身近な教材を取入れている。

【教育出版】

・体験的なアクティビティが入っており特徴的である。

【光村図書】

・ハンセン病など人権に踏込んでいる。三浦市の取組を考えるとタイムリーな内容である。

【日本文教出版】

・道徳の学び方の丁寧さが際立つ。教職員が年間を通した授業をつくりやすい。

【学研】

・自分自身を見つめさせるような内容が多く、物語も多い。

【あかつき】

・太字のUDフォントを使用していて、他社より太く読みやすい。

【日本教科書】

・内容項目順に並べられている。

これらの報告を受け、教科用図書採択検討委員会にて比較検討した結果、7社のうち、より適した三浦市の中学校で使用する教科用図書、特別の教科道徳として、「光村図書」、「学研」、「あかつき教育図書」が同列の○として、報告されました。

資料7ページ「令和7年度使用中学校教科用図書検討協議結果」を御覧ください。

3社の教科用図書を候補といたしました理由について、特に優れているとされた理由について読み上げさせていただきます。

まず、「光村図書」の理由としましては、

・三浦市の人権教育推進においてハンセン病等の人権課題を重点として指導しているため、道徳科から人権推進を進めていくことができる。

・環境や防災、人権などのSDG sにつながるコラムが掲載されている。

・「見方を変えて」で物事を多角的に捉えられるように工夫されている。

次に、「学研」の理由としましては、

・「深めよう」や「クローズアップ」には、自己を見つめ話し合う活動が設定されている。

・時代に合った多様な教材があり、記述が平易で理解しやすい表現や読みやすさに配慮されている。

- ・情報モラルについて、実生活に関連付けながら、課題を挙げることができるようになって

いる。

次に、「あかつき教育図書」の理由としましては、

- ・中学生の実態に合った心に響く教材が多数掲載されている。
- ・必要な情報が精選され、教材のよさが生かされた構成となっており、読みやすい。
- ・生徒にとって身近な著名人（スポーツ選手など）を題材にし、主体的な学びにつながるよう配慮されている。

が挙げられました。説明は以上です。

○及川教育長 説明が終わりました。

御意見等ございましたらお願いします。

○石渡委員 私も教育現場にいた一人として、道徳を推進する中でやっぱり教材というのは多角的な面で考えられるのかなと思うのですが、各社とも人権課題やSDGsなど、生徒にとって読みやすいかというのもあると思うのですが、そういう部分は堅実に進められているのかなと思います。その中で、検討委員会からの報告にもありましたが、三浦市における人権教育ということで、ハンセン病が載っているというのは人権教育を進めるに当たって、進めやすいのでしょうか。

○佐藤指導主事 三浦市では令和4年度より3か年で文部科学省の委託事業を受けて、人権教育の推進を図っているところです。その中でハンセン病の課題というのを重点課題の一つとして選んでおります。これまでも教職員がスライドや資料を自分で制作して授業を行っていたんですけども、教科書の中にハンセン病の素材があるということでは授業に取り組みやすくなるのではないかなと考えております。

○村山委員 ハンセン病を道徳として教えていくという難しさがあると思います。人権の問題として取り組むということは必要なことかと思います。道徳としてどう伝えていくかという難しさがあるかと思いますが、今おっしゃったように三浦市でハンセン病についての話を人権として進めていく中で、道徳として子どもたちにハンセン病を考えてもらうというのは三浦市の姿勢として大切だと思いますし、三浦の教育の実態に合っていると思います。ですので、この題材を大いに使ったほうがよいと考えますので、光村がよいと思います。

○及川教育長 三浦は、先ほど説明にもありましたけれども、国の事業を受けて、三浦市各学校の教職員で構成されている三浦市人権教育総合推進事業というのに取り組んでいます。その中の一つのテーマとしてハンセン病を取上げている。そのような市の取組と関連付けていくという上でも光村がよいのではないかというお二人の意見でありました。

そのほかいかがでしょうか。

○廣瀬委員　私が印象に残ったことでは、まず東書でSNSの使い方というのが1年生で取扱っていました。ほかは、大体2年生以上でしたので、今SNSというのは早い段階で学ぶのはとてもいいことだなと思いました。

教育出版は、「個性」についての話題があったんですけども、個性を持っていていい、人と違っていい、自分を大切にすることがとても感じ取れた教科書でした。

ただ、総合的には私は光村がよかったです。中でも印象に残ったのがコラムの掲載でした。「なんだろう、なんだろう」と2ページにもわたるヨシタケシンスケさんの絵と文字で書かれていたんですけども、「許す」ってなんだろう、「正義」ってなんだろう」というテーマが絵と文で書かれていて、文章だけで読解するのではない方法をみて、こういう伝え方もあるんだなととても心に響きました。

○及川教育長　長い文章を読取れない子どももいるとすれば分かりやすいということですね。そのほかいかがでしょうか。

○石崎委員　私もほかの委員のみなさんと一緒に光村図書がよいと思います。ほんとに今心の病気が多くなっていると思います。三浦市だけではないと思いますが、若い子たちが多く悩みを抱えている。それと人権のこと、病気のことを多角的に物事を見ることなどを強く記載されていてすごくよいと思いました。

○及川教育長　今の子ども、若者の実態としてということですね。そのほかいかがでしょうか。

○石渡委員　先ほど三浦の人権教育に関わっての話があったんですが、教材の題材を見ているとスポーツ選手などを取上げている著名人を身近に感じられる視点から見るとあかつき図書もいいなと思うのですが、三浦市として人権教育を推進しているという観点から事務局からの説明もありましたが、教材があると取扱いやすいということもありましたし、いろんな面で難しい世の中で子どもたちが多様性などの中でいろんなストレスが溜まりやすい年ごろなのかなと思います。全体的にみるとやっぱり光村がよいのではないかと思います。

○及川教育長　そのほかよろしいでしょうか。

皆さんの意見を聞く中では、それぞれの会社のよさは認めつつも三浦の人権教育推進の事業のことを考えたとき、あとは今の若者の実態を考えたときには、光村図書がよいのではないかという意見が多いのかなと思います。

そのようなことから三浦に合ったものと考え、「特別の教科 道徳」については、「光村図書」で、御異議ございませんか。

（「異議なし」の声あり）

ありがとうございます。

御異議ないようですので、「特別の教科 道徳」については、「光村図書」で決定をさせていただきます。

以上で【国語】から【特別の教科 道徳】までの16種目について、教科書の採択を終了いたします。

最後に、事務局から何かございますか。

○増田学校教育課長 2点あります。

まず、1点目学校教育法附則第9条、特別支援学級に学ぶ子どもたちの中での教科用図書採択については、今回希望が出ておりませんことを御報告申し上げます。

2点目、7月末から8月にかけては県内各市町村で採択が進められております。これらに配慮し、本日の採択の結果の公開については、9月1日以降ということで、御配慮をお願いいたします。

○及川教育長 今2点ありましたが、特別支援学級で学ぶ子については、特に教科用図書として使用する教材については希望がなかったということです。

もう一つは、今日の結果については9月1日までは積極的な公開はしないということになりますので、御承知おきいただきたいと思います。よろしくお願いします。

教育委員の皆さんから何かありますか。

(特になし)

それでは、以上をもちまして、令和6年第1回三浦市教育委員会臨時会を閉会いたします。お疲れさまでした。

傍聴者の方は御退出ください。

◇ 午後5時10分 閉会 ◇
